

平成27年10月25日執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

登米選挙区
宮城県選挙管理委員会

あなたの声をいち早く
県政に届け、実行へ！

登米市の皆様と築きあげた二期八年の実績を糧に、未来の子供達の希望となる豊かなふるさと創りを私の政治生命に懸けて実行して参ります。只野九十九に絶大なるお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【略歴】
昭和23年9月12日生まれ
日本大学工学部卒業
豊里町長 三期
【現職】
宮城県議会議員(平成19年4月～)

次世代を担う子供達に残したい！
活気に満ちた豊かな郷土

地元第一！



子供からお年寄りまで、市民一人一人がこの地に生まれ、この地に生きる喜びを実感できる理想のふるさと創りを目指し頑張ります。

- ◎働く場所の確保と豊かな地域社会の創生
- ◎地域農業活性化と登米ブランドの確立
- ◎教育の環境づくりと学力向上対策
- ◎医療福祉と介護基盤の充実

『まず暮らし、まず地域』
が私の原点です



自由民主党公認
ただの
只野 九十九
67歳

“即戦力として”

「農家の声を、商店の声を、地域の皆様の声を、声なき声を、」
県政に届けます！
県政に反映させます！

- ① 農業・林業の活性化
- ② 商工業の活性化
- ③ 子育て支援・高齢者福祉の充実
- ④ 地域医療対策
- ⑤ 災害に強い町づくり

— 略 歴 —

佐沼高等学校卒
慶応大法学部（通信課程）卒
元津山町長
前宮城県議会議員

今こそ地方創生！共に歩む。

この4年間、地域をくまなく歩き、多くの皆様のご意見をお聞きし、生まれ、育ち、そして今暮らす、我がふるさと登米市を改めて見つめ直す事が出来た、有意義な時でありました。今、地方創生に根本から取り組みなければ、いずれ我がふるさととは、本当に取り返しのでつかない事態になるかもしれません。

「決断と実行の政治」を第一の信条として、皆様との出会い、交流を心の支えに全力を尽くしてまいります。

「決断と実行の政治」



もりひろ
くまがい盛広
(64歳)

新しい風になる

プロフィール

1964年5月 迫町生まれ (51歳)
中田町石森加賀野 在住
佐沼小・佐沼中・佐沼高校卒業
佐沼高校では陸上部に所属し
インターハイ・国体に出場(100m・200m)

職歴・資格

参議院議員 桜井 充 元秘書 (11年間)
ホームヘルパー 2級

好きな言葉

「平和は笑顔から始まるもの」

家族

子ども3人(社会人になりました)

子どもたちの笑顔のために

- ・産科・小児科医師不足の解消
- ・子どもの貧困問題対策「ひとり親家庭」支援

お年寄りの笑顔のために

- ・健康寿命延伸のための予防医療・介護の促進
- ・介護従事者不足の解消と質の高いサービス追求

がんばる人の笑顔のために

- ・農業など各産業の後継者及び人材育成に努める
- ・企業誘致と既存企業への支援策で地元雇用創出

次の世代のために。非核・不戦

- ・命を守りたい「母親の想い」とともに歩み、声を上げ続けます。

強い者だけが生き残れる社会ではなく
弱くとも一人ひとりが
大切にされる社会を創りたい
政治の場に母親の視点
女性の感性を活かしたい
すべてはあなたの笑顔のために
あなたの幸せのために



無所属/民主党推薦
佐々木なつえ

平成 27 年 10 月 25 日 執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

登米選挙区
宮城県選挙管理委員会

チェンジ 登米！ - 県北の中心となる 1 ランク上の登米地域と豊かな宮城を創ります -

☆白鳥昭浩は、安全・安心で豊かな登米地域を次世代へ引き継ぐため、以下の課題に全力で取り組みます。

- ◆農業経営・登米ブランドの確立、農林畜産業などの産業振興
- ◆仙台経済圏との交流、長沼・平筒沼などの環境整備、観光振興、再生可能エネルギーの活用による所得増加
- ◆医療環境の再建、高齢者・子育て支援の充実、教育・文化振興、健康地域づくり
- ◆放射能汚染稲わらの速やかな撤去など震災からの復旧・復興と女川原発廃炉による地域の安全・安心の確立、迫川、長沼川・夏川などの河川改修促進
- ◆東北自動車道（長者原 IC）へのアクセス道路整備、迫川橋梁の渋滞対策、瀬峰駅など JR 駅の活性化



白鳥昭浩

☆東北自動車道（長者原 IC）へのアクセス道路の整備効果☆

登米市から長者原 IC まで距離は 27km で所要時間は 50 分ですが瀬峰付近から長者原 IC 間に新たなアクセス道路 10 km を整備することにより所要時間を 30 分短縮できます。これによって仙台、登米間の所要時間は 1 時間未満になり、通勤、観光、農林畜産業に大きな効果が得られます。さらに沿線に工業団地等を整備し企業を誘致することで若者に新たな雇用を生み出し登米市に残る若者が増えることで、高齢者の方々が安心して生活することが可能になります。

☆白鳥昭浩のプロフィール

出身:昭和 36 年 5 月 6 日、農家の長男として現在の宮城県登米市で生まれる。

学歴:佐沼高等学校、筑波大学を卒業、筑波大学大学院理工学研究科を修了。

職歴:昭和 62 年に建設省（現国土交通省）に入省。本省、地方整備局、国土交通大学校などで課長補佐、事務所長、建設部長等を歴任し、道路、河川等の社会資本整備、建設リサイクル法の立案、地域づくり、災害対策等に携わる。平成 24 年 12 月に国土交通省を退官。平成 25 年 1 月に一般社団法人 東日本大震災復興推進機構の代表理事に就任。



国や県が欲しが るアイデアを 登米から発信させよう!!



無所属
わたなべ忠悦
ちゅうえつ

代弁者として
攻める

- 【道路・交通】道路整備進捗と交通安全対策
- 【農林業】登米独自のブランドの提案 / 放射能汚染物質の課題解決へ向けた取り組み
- 【産業・雇用】中小企業への支援策で登米が潤うための働きかけ
- 【地域課題】自然エネルギーの開発活用

地域の宝を守る

- 【医療・福祉・介護】安心して自立の生活が送れる福祉体制や介護者支援 / 医療難民対策 / 予防医療の充実
- 【危機管理】女川原発再稼働に関する登米市の発言をあと押し / 災害の備えと対応力の向上
- 【保全活動】先人により伝えられてきた地もの（野菜や農法産業）存続に向けた取り組み

育てるお手伝い

- 【子育て・教育】子供が楽しく若い世代が住みたくなるまち / ふくらむ子供の教育費に対応した助成制度の提案
- 【新しい力】女性の活躍の場の拡大

わたなべ忠悦は皆さまの生活がより豊かになるために、皆さまの声・願いが一つでも多く実現するよう知恵をしばり、行政ができることの可能性を広げるべくひたすら走りまわりました。これからも初心を忘れることなく、登米・宮城の伸びしろを信じて何事も積極的に働きかけてまいります。また、女川原発再稼働や安保法という大きな問題に対し、声を大にして訴えている登米市の勇気ある行動を尊重します。今後とも、皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成 22 年 障害者支援サークル（就労継続支援 A 型）起業
平成 23 年 宮城県議会議員選挙に出馬 再選

10月25日(日)は、



宮城県議会議員一般選挙の投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。（10月24日(土)まで）
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

宮城県選挙管理委員会 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県庁内